



2012 年度 全日本学生ボードセイリング選手権

大学対抗戦

2013 年 2 月 21 日 (木) ~24 日 (日)

共同主催：全日本学生ボードセイリング連盟・和歌山県セイリング連盟

公 認：(公財) 日本セイリング連盟

後 援：和歌山県・和歌山県教育委員会・(社) 和歌山県体育協会

和歌山市・和歌山市教育委員会・和歌山市体育協会

協 力：NPO 和歌山セイリングクラブ

開催場所：ナショナルトレーニングセンター 競技別 (セイリング) 強化拠点

和歌山セイリングセンター、和歌山県、和歌山市

<http://www.wakayama-sailing.org/>

---

レース公示

1 規則

1.1 本レガッタには、『セイリング競技規則』に定義された規則が適用される。

1.2 (公財) 日本セイリング連盟規則・日本学生ボードセイリング連盟規則・当該クラス規則が適用される。

2 広告

ボードは、主催団体により用意された広告を表示するよう要求されることがある。

3 参加資格および申込み

3.1 本レガッタには日本学生ボードセイリング連盟加盟校に在籍し、(公財) 日本セイリング連盟の会員であるテクノ293クラスのボードで、各大学 5 名以下の代表者で構成されるチームが参加できる。

3.2 参加資格のあるチームは、エントリー用紙及び誓約書を完成させ、2013 年 1 月 18 日 (金) までに以下の住所へ送付することにより、参加申込をすることができる。

2012 年度全日本学生ボードセイリング選手権 大学対抗戦 実行委員会

山本 智香 (同志社大学 ボードセイリング部)

〒524-0036 滋賀県守山市伊勢町 376-8

3.3 参加申込が遅れた場合には、参加を認めない。



# 全日本学生ボードセイリング連盟

Japan University Boardsailing Federation

## 4 参加料

参加料は別紙エントリー用紙及び誓約書の通りとする。

## 5 レースのフォーマット

5.1 本レガッタは、1つのシリーズの中で、大学対抗戦と個人成績により構成される。

### 5.2 大学対抗戦

各大学のチームの内、3艇以下のボードが各レースに出場し、その合計得点により総合順位を競う。

### 5.3 個人成績

各レースに出場した各ボードの合計得点により総合順位を競う。

## 6 日程

### 6.1

2月21日(木)	14:00~17:00	計測・スタンピング
2月22日(金)	8:00~9:00	レジストレーション
	9:00~	開会式・艇長会議
		レース
2月23日(土)		レース
2月24日(日)		レース
	17:00~	表彰式・閉会式

### 6.2 レース数

本大会は9レースを予定し、1日に行われる最大のレース数は4レースである。

6.3 2月22日(金)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、10:25である。

6.4 2月23日(土)以降、それぞれの日の最初のレースの予告信号の予定時刻は9:55である。

6.5 レガッタの最終日には、15:00より後に予告信号を発しない。

## 7 計測

計測は実行委員会の選定した計測委員により、ハルの重量計測及びセールスのスタンピングが行われる。さらに、大会期間中、いつでも検査される場合がある。

## 8 帆走指示書

帆走指示書は2103年2月21日(木)14:00以降に和歌山セイリングセンターの大会事務局にて各大学単位で入手できる。



- 9 開催地
- 9.1 和歌山セーリングセンターの所在地は以下のとおりである。  
〒641-0014  
和歌山県和歌山市毛見 1514 番地  
<http://www.wakayama-sailing.org/map/index.html>
- 9.2 添付 1 は、レース・エリアの場所を示す。
- 10 コース
- 10.1 添付 2 の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2 LS コースは概ねフィニッシュ・ラインが和歌山セーリングセンター北側に設置されるように設定される。最後のマーク 4s/4p からフィニッシュ・マークまでの各レグにおけるレグ間の概ねの角度と長さは必ずしも図の通りではない。
- 11 得点
- 11.1 大学対抗戦・個人成績それぞれの得点方式は、次の通りとする。
- 11.2 シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。
- 11.3 シリーズに参加したボードの数は、「3 名以上の選手が登録された大学の数×3 に加え、3 名未満の選手が登録された大学の選手の数の合計」とする  
この項は付則 A4 を変更している。
- 11.4 大学対抗戦
- (a) 各レースの得点は、各大学の内、得点の少ない 3 つのボードのレース得点の合計とする。3 名未満の選手の数で参加する大学の各レースの得点の合計は、得点の合計に用いられる 3 つのボードに満たないボードを、DNC として記録し得点の合計に加える。
- (b) 4 レース未満しか完了しなかった場合、各大学のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- (c) 4 レース以上が完了した場合、各大学のシリーズの得点は、最も悪いレース得点を除外したレース得点の合計とする。
- 11.5 個人成績
- (a) 4 レース未満しか完了しなかった場合、ボードのシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- (b) 4 レース以上が完了した場合、ボードのシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。



# 全日本学生ボードセイリング連盟

Japan University Boardsailing Federation

- 12 支援艇
- 12.1 支援艇は次の要件を満たす場合にのみ使用が認められる。
- (a) 所定の申請用紙を提出すること
  - (b) 乗艇者数が2名以上で定員の半数を超えないこと
- 12.2 支援艇は、海上ではレース委員会の用意する「ピンク旗」の標識を付けなければならない。
- 13 停泊
- ボードは和歌山セイリングセンターにある間、指定された場所に保管しなければならない。
- 14 無線通信
- 緊急の場合を除き、レース中のボードは、無線送信も、すべてのボードが利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。
- 15 賞
- 15.1 賞を次のとおり与える。
- 15.2 大学対抗戦
- (a) 1位のチームに 全日本学生ボードセイリング選手権“優勝旗”及び“優勝トロフィー”を次の年までの1年間、授与する。
  - (b) 1位から6位のチームにメダルを与える。
- 15.2 個人成績
- 1位から10位の選手にメダルを与える。
- 16 責任の否認
- このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。
- 17 問い合わせ先
- 全日本学生ボードセイリング連盟
- 2012年度全日本学生ボードセイリング選手権 大学対抗戦 実行委員会
- 山本 智香 (同志社大学 ボードセイリング部)
- 〒524-0036 滋賀県守山市伊勢町 376-8
- TEL 09062368165 / E-mail [baby\\_sheep77@yahoo.co.jp](mailto:baby_sheep77@yahoo.co.jp)



# 全日本学生ボードセーリング連盟

Japan University Boardsailing Federation

添付1 レース・エリア



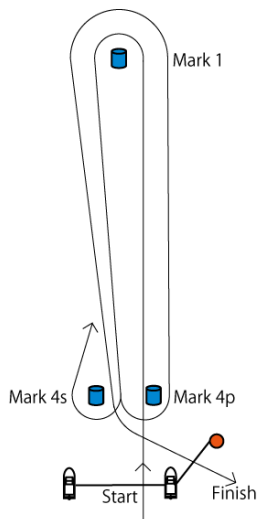


# 全日本学生ボードセーリング連盟

Japan University Boardsailing Federation

## 添付 2 レース・コース

- L 2: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-Finish
- L 3: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4s/4p-Finish
- L 4: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4s/4p-Finish



- LS 2: Start-1-4a/4p-1-4s/4p-S1-S2-S3-Finish
- LS 3: Start-1-4a/4p-1-4s/4p-1-4s/4p-S1-S2-S3-Finish
- LS 4: Start-1-4a/4p-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4s/4p-S1-S2-S3-Finish

